

BSSP (Boyo Special Science Program)

テーマ [人間工学]

車の乗り心地の科学

連携機関

東海大学工学部動力機械工学科

東海大湘南キャンパス 12号館前



まずはじめに、私たちは機器と機械の違いについてお話を聞きました。



機器と機械の違いについて

機器とは、動力を使わずに人力で動かす物。

機械とは、動力を使って一定に動く物。

という分類をすると、車は機械に分類される。

次に、車の乗り心地の歴史について話を聞きました。



とにかく動けば良い→安心して乗れる→誰でも買える→速い→燃費が良い→静か

**乗り心地が良い!**

人間には嫌いな振動と心地のよい振動がある

最初の車は幌馬車というもので、サスペンションのないものでし

車の振動をシュミレーションしたり、制御したりする装置を使って乗り心地を測定



ハンドルの重さを変動させて、運転をサポートする研究

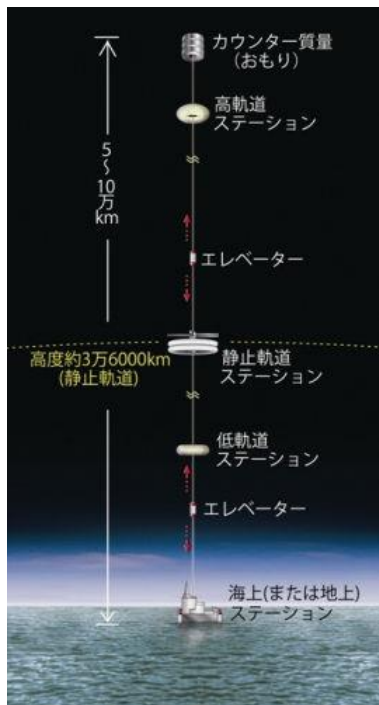


磁力で振動を制御する研究



# 未来の乗り物について

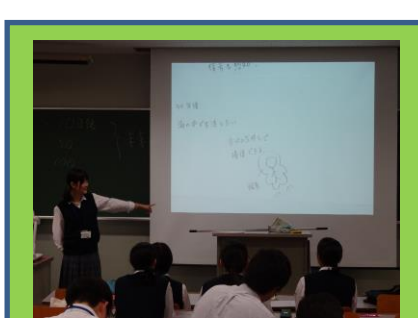
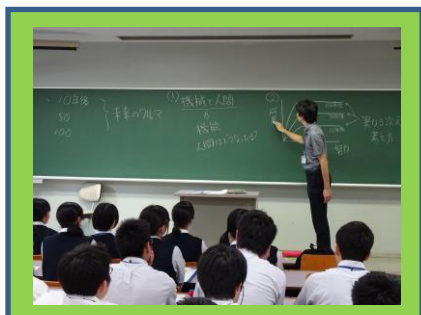
、「未来の乗り物」について調べるといふ事前課題を一人ずつ発表しました。それを受けて、最先端の乗り物についてお話をいただきました。



現在開発途中であるリニアモーターカーや、軌道エレベーターの原理や計画について説明を聞くことができました。

説明の後、講師の先生から、10年後、50年後、100年後 乗り物と人間の関係がどうなっているか、今回の講義の内容を生かして、想像してみましようという課題が出ました。

各自で課題に取り組み、最後に一人ずつ発表し、それぞれの発表にコメントをいただくことができました。



## 【感想】

未来の人間の暮らしぶりを考え意見がたくさん出てきて夢が膨らみました。このようにたまには、未来について考えるのも良いと思いました。(田中)

今では、実現が不可能なタイムマシンや飛べる車が100年後には出てくると思うので、これからの未来が楽しみです。